

学校教育課 66 1165

蒲都市では、子どもたちの「生きる力」の育成と地域に根ざした学校づくりを、より推進するために、平成16年4月から2学期制を導入しました。2学期制検討委員会では、昨年度に引き続き、三つの専門部会を設置し、さまざまな角度から検討を重ねています。その取り組みの一環として、市内全小中学校の保護者、児童・生徒、教員を対象に、「2学期制アンケート」を夏休み後の9月第1週に実施しました。

今号では、そのアンケート結果の概要をご報告します。

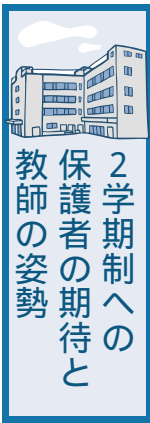


子どもたちの夢を育む

2学期制

アンケートの対象および回答数

市内全教職員 394人
 市内各小中学校の児童・生徒 約千400人
 その保護者 約千300人
 小学校は学校ごとに低学年と高学年から1学級ずつ、中学校は学校ごとに各学年から1学級を無作為抽出し、アンケートを実施しました。



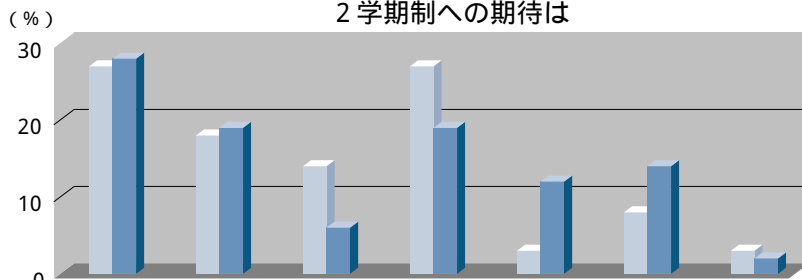
2学期制への保護者の期待と教師の姿勢

2学期制のねらいの一つに「これまでの教育活動を見直し、子どもへの評価を通して授業の改善を促すことができる」ことが挙げられます。

次の設問では、まず、この点について、保護者と教員の両者に質問しました。

保護者に対する設問「2学期制導入に際して、どんなことに期待しますか」では、「授業での基礎・基本の定着」(27%)、「子供へのきめ細かな支援」(27%)、「教科の授業の内容や進め方」(18%)が上位3項目となっています。

2学期制への期待は



	授業での基礎・基本	授業内容・進め方	総合的な学習	きめ細かな支援	評価資料	夏休み中の計画	その他
保護者	27	18	14	27	3	8	3
教師	28	19	6	19	12	14	2

この結果から、保護者に2学期制のねらいを理解していただけていることがうかがえます。教員に対する設問「2学期制導入に際して、特に心がけてきたことはどんなことですか」も、上位3項目は数字の違いは多少あるものの、保護者と同様の回答となっています。